

# Jun. 2025 Vol. 275

東京都中央区日本橋本町4-9-2 本栄ビル9階 <https://www.jfa-tanzo.jp>  
TEL 03(5643)5321 FAX 03(3664)6470 e-mail: forging@jfa-tanzo.jp

一般社団法人日本鍛造協会  
編集発行 広報委員会

## 第17回 定時社員総会 議事録

|       |                                                                |
|-------|----------------------------------------------------------------|
| 開催日時  | 令和7年5月30日(金) 14時00分                                            |
| 開催場所  | KKRホテル東京 11F「丹頂」                                               |
| 総社員数  | 27名                                                            |
| 出席社員数 | 26名(うち、委任状出席9)                                                 |
| 来賓    | 大木章弘氏<br>(経済産業省 製造産業局 素形材産業室)<br>武藤心平氏<br>(経済産業省 製造産業局 素形材産業室) |

### ●審議事項

#### 第1号議案 令和6年度計算書類等の承認の件

議長の指示により、常務理事が資料に基づき令和6年度収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書(公益目的支出計画実施内訳)、付属明細書(引当金明細)について説明した。

次いで、議長が監事に監査報告を求めたところ、監事より令和6年度にかかる事業報告は法令及び定款に則り正しく示しているほか、理事の職務執行に関する不正行為、定款違反の事実はない旨、また、計算書類、その付属明細書及び財産目録は、全ての重要な点において適正に示している旨報告があった。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

### ●報告事項

#### 1) 令和6年度事業報告、公益目的支出計画実施報告の件

議長の指示により、常務理事が資料に基づき令和6年度(自令和6年4月1日 至令和7年3月31日)における重点事業、協会活動、委員会活動及び会員の異動状況を説明した。

引き続き、毎年内閣府に提出する令和6年度公益目的事業計画実施報告について、資料に基づき、内閣府より承認を得た公益目的事業にかかる収支差額、財産残額、公益目的事業の実施状況等について説明した。

次いで、議長が監事に監査報告を求めたところ、監事より令和6年度にかかる公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を適正に示している旨報告があった。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、異議なく全員の確認を得た。

#### 2) 令和7年度事業計画、収支予算の件

議長の指示により、常務理事が資料に基づき令和7年度事業計画にかかる重点事業及び主要会議体を説明した。

引き続き、資料に基づき、令和6年度収支実績及び令和7年度事業計画を勘案して編成した令和7年度の収入及び支出予算について、その内容を説明した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、令和7年度の賀詞交歓会の日程に関して質問があり、確認の結果、以下の通り資料の訂正をお願いし、異議なく全員の確認を得た。

(正) 令和7年度の賀詞交歓会：令和8年1月22日(木)

### ●講演会並びに交流会開催

総会終了後に、講演会並びに交流会を開催しました。講演は、経済産業省 製造産業局 素形材産業室長 星野昌志様より『2025年版 素形材産業ビジョン』について講演をいただき、45名が聴講しました。また、その後の交流会にも皆様にご参加いただき、会場は大いに賑わいました。



## MANYO

ビレットシャー 30TON~1300TON

フォーミングロール FR120~FR960

プレス 50TON~3000TON

アブセッター 200TON~2300TON



Tel 06-6458-0481

## 安全衛生環境委員会報告



安全衛生環境委員会におきまして、応募総数326点（34社）の中から、以下の通り令和7年度の安全衛生標語優秀作品を決定いたしました。

惜しくもこの度入選に漏れた方も、ぜひ来年もご応募くださいますようお願いいたします。

● なお、安全衛生標語並びに労働災害実態調査結果のポスターを会員各位に送付いたしますので、従業員の皆様の目に触れるところに掲示していただければ幸いです。

## 令和7年度安全衛生標語優秀作品

(敬称略、社名50音順)



トラブル時 止めたか 切ったか 動力源  
手を出す前に指差呼称



株式会社イチタン 松崎志織



小さなうっかり 大きな代償 手順を守って安全作業 みんなで築く安全職場

株式会社イチタン 花澤裕二

危険な作業を『しない』、『させない』、『見逃さない』、注意しあえる安全職場

株式会社イチタン 今井規夫



あっ！と感じたその作業 勇気を出して報・連・相 そこから始まるゼロ災職場

大和商事株式会社 中庭輝子

危険に対する知識と感度 高めて築く 職場の安全

東京精密鍛造株式会社 古宇田 一行

ヒヤリをヒヤリで終わらせず　すぐ対策　すぐ行動　安全第一　ゼロ災職場

株式会社明治製作所 岡崎 広大

## 佳作

早くやるより正確に 急いでやるより確実に ひと手間惜しまぬ作業こそ ゼロ災害への道しるべ

アサヒフォージ株式会社 間 浩 行

しない させない 見過ごさない みんなで守る 安全職場

岡田工業株式会社 大 森 輝

ルールを守る・守らせる 一人ひとりが監督者 注意しあえる 大事な仲間

KAKUTA テックフォーミング株式会社 山 上 陽 也

危険の放置は みんなの責任 心を引き締め 安全確認 指差し呼称で 0災害

小林鍛工株式会社 片上徹也

安全は働くみんなを守るもの 働くみんなでつくるもの みんなで築く職場の安全

新発田鍛工株式会社 小池 正人

安全は人に頼るな！任せるな！ 今一度 この目この手で再確認

同和鍛造株式会社 川端明美

「やりにくい」感じたその時 即改善 明日に危険は持ち越すな

北陸工業株式会社 岩崎元紀

いつもの作業と過信せず 安全意識を常に持ち 皆で築こう 無災害職場

丸中鍛工株式会社 磯 貝 賢 二

一人ひとりが責任者 油断と過信は事故のもと みんなでつくろう安全職場

株式会社峰山鉄工所 家原 勝

「あせり」と「だろう」は事故の元 注意一秒 怪我一生

八木工業株式会社 赤尾典宏



## 人材育成事業報告

### ◆令和7年度鍛造マネージャー育成塾コース 「科目2 鍛造品とその評価」実施

去る5月19日(月)～20日(火)に高度ポリテクセンター(千葉県千葉市)において、「鍛造品とその評価」をテーマに実施しました。1日目は、鍛造品の適用機能や品質検査、部品軽量化への取組などの座学講義を行いました。

2日目は、実証実験として鍛流線と強度確認や衝撃、引張り試験の実習を行いました。

その後、グループワークを行い、工程FMEAの作成から不具合モードを洗い出し、故障やその原因、検査管理方法を考察するディスカッションを行いました。



### ◆令和7年度鍛工品製造業 実践型人材養成コース 開講

去る5月15日(木)～16日(金)に亀戸文化センター(東京都江東区)において、受講生13名でスタートしました。

初日のオリエンテーションでは、はじめに高田専務理事より挨拶があり、その後、ポリテクセンター福島 藤村講師による現場改善力向上に関する特別講義が行われました。

2日目は、大同大学名誉教授 小野講師による教科1「鍛造の基礎知識」の講義が行われました。



### ◆令和7年度 自社でできる設備保全 技術研修 開講

去る5月19日(月)～20日(火)に高度ポリテクセンター(千葉県千葉市)において、5つの素形材団体から15社22名の受講生にてスタートしました。

第1回の講義は「締結」をテーマに、グループ毎に工具や減速機を用いた作業を行いながら、工具の正しい使い方と応用方法、更にトラブル事例や対応方法を学びました。



### ◆令和7年度鍛造設備保全マイスター育成塾 一柱Ⅲー 第1回 実施

去る5月22日(木)～23日(金)に株式会社ヤマナカコーキン(千葉県佐倉市)において、「センシング技術及びIoT、AIの適用」をテーマに第1回を実施しました。1日目は、鍛造現場のスマート化をテーマに、DXの最新事例や設備可視化に向けたセンシング技術の活用、今後の設備開発の展望について紹介し、鍛造工程全体の効率化と高度化に向けた動向を学びました。

2日目は、センサーやモニタリング技術を活用した工程の可視化や異常検知の手法について実技を交えて学び、現場のDX化に向けた具体的な課題と対応策を検討しました。あわせて、工場見学を通じて可視化・DXの実例理解を深めました。



## 市場調査委員会報告 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

受注見通し調査結果  
(令和7年4月～6月期)

■調査対象企業数 143社  
■回答社数 34社 (回答率23.7%)

## ○自動車向け○

★横ばい：10社

【増加】 7 (社)

|       | 5%未満 | 5-9% | 10-14% | 15-19% | 20-24% | 25-29% | 30%以上 |
|-------|------|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 型 鍛 造 | 2    | 3    | 1      | —      | —      | —      | —     |
| 自由鍛造  | —    | —    | —      | —      | —      | —      | 1     |
| リング鍛造 | —    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 併 業   | —    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 合 計   | 2    | 3    | 1      | —      | —      | —      | 1     |

要因：・主要顧客向けの需要が増加。  
・BEV低迷によるガソリンエンジンの延命。  
・自動車メーカー生産台数増。  
・新規部品の生産量が増加。

【減少】 9 (社)

|       | 5%未満 | 5-9% | 10-14% | 15-19% | 20-24% | 25-29% | 30%以上 |
|-------|------|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 型 鍛 造 | 1    | 3    | —      | 2      | —      | —      | 1     |
| 自由鍛造  | —    | —    | —      | —      | 1      | —      | —     |
| リング鍛造 | —    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 併 業   | —    | 1    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 合 計   | 1    | 4    | —      | 2      | 1      | —      | 1     |

要因：・設備撤去のよる追込み生産終了のため。  
・乗用車用部品の減少。  
・某自動車メーカーを中心に販売低迷を受けて需要減。  
・車両EOP。  
・エンジン認証問題による需要減続く。  
・自動車関係の新規案件減少。

## ○産業機械・土木建設機械向け○

★横ばい：8社

【増加】 4 (社)

|       | 5%未満 | 5-9% | 10-14% | 15-19% | 20-24% | 25-29% | 30%以上 |
|-------|------|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 型 鍛 造 | 3    | —    | —      | 1      | —      | —      | —     |
| 自由鍛造  | —    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| リング鍛造 | —    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 併 業   | —    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 合 計   | 3    | —    | —      | 1      | —      | —      | —     |

要因：・需要が底打ちした。  
・建機底打ちも、北米関税で今後は不透明。  
・突発的な案件があり増加。

【減少】 13 (社)

|       | 5%未満 | 5-9% | 10-14% | 15-19% | 20-24% | 25-29% | 30%以上 |
|-------|------|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 型 鍛 造 | —    | —    | 2      | 1      | 1      | —      | 5     |
| 自由鍛造  | —    | —    | 1      | —      | 1      | —      | —     |
| リング鍛造 | —    | 1    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 併 業   | —    | —    | 1      | —      | —      | —      | —     |
| 合 計   | —    | 1    | 4      | 1      | 2      | —      | 5     |

要因：・2024年同様で回復は見込めない状況。

- ・油圧シャベルの需要減と海外からの部品調達が進んだため。
- ・国内中小型が減少。
- ・建機は昨年7月より在庫調整が続く（中国の景気減速）。
- ・工作機械向け増加を大型部品の需要減が上回る。
- ・海外向けが低調。
- ・複合的な影響により得意先一部拠点で在庫過多。
- ・建機需要減に伴う産機メーカー向け減。

## ○輸送機械向け需要量○

★横ばい：8社

【増加】 5 (社)

|       | 5%未満 | 5-9% | 10-14% | 15-19% | 20-24% | 25-29% | 30%以上 |
|-------|------|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 型 鍛 造 | —    | 1    | 1      | —      | —      | 1      | —     |
| 自由鍛造  | 1    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| リング鍛造 | —    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 併 業   | 1    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 合 計   | 2    | 1    | 1      | —      | —      | 1      | —     |

要因：・フォークリフト部品の在庫調整が終了に近づいている。  
・値上がり前の駆け込み需要が大きい。産業全体での需要は低下傾向。  
・航空機向けが微増。  
・トラックOEMから一時的な応援受注があったため。

【減少】 6 (社)

|       | 5%未満 | 5-9% | 10-14% | 15-19% | 20-24% | 25-29% | 30%以上 |
|-------|------|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 型 鍛 造 | —    | —    | 1      | —      | —      | 2      | 1     |
| 自由鍛造  | —    | 1    | —      | —      | —      | —      | 1     |
| リング鍛造 | —    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 併 業   | —    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 合 計   | —    | 1    | 1      | —      | —      | 2      | 2     |

要因：・小型船舶向け需要の減少。

## ○その他向け○

★横ばい：7社

【増加】 8 (社)

|       | 5%未満 | 5-9% | 10-14% | 15-19% | 20-24% | 25-29% | 30%以上 |
|-------|------|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 型 鍛 造 | 1    | 2    | 2      | —      | —      | —      | —     |
| 自由鍛造  | —    | —    | —      | —      | 1      | —      | 1     |
| リング鍛造 | 1    | —    | —      | —      | 1      | —      | —     |
| 併 業   | —    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 合 計   | 1    | 2    | 2      | —      | 2      | —      | 1     |

要因：・重電向け増加。  
・北海道新幹線延伸のレール用部品を新規受注増。  
・在庫調整が一段落したと思われる。  
・半導体スパッタリング伸長。  
・建設関係が若干回復傾向。  
・新規案件があり増加。



## 【減少】

9 (社)

|       | 5%未満 | 5-9% | 10-14% | 15-19% | 20-24% | 25-29% | 30%以上 |
|-------|------|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 型 鍛 造 | —    | —    | —      | 1      | 1      | 1      | 3     |
| 自由鍛造  | —    | —    | —      | —      | —      | —      | 1     |
| リング鍛造 | —    | —    | —      | —      | —      | —      | —     |
| 併 業   | 1    | —    | 1      | —      | —      | —      | —     |
| 合 計   | 1    | —    | 1      | 1      | 1      | 1      | 4     |

要因：・半導体製品在庫過多で受注ストップ。能登地震復旧遅れ受注ストップ。  
・半導体製造装置の配管部品、在庫調整が続く。  
・鉄道海外向け入札遅延による減少。

## 委員会開催報告

## ■安全衛生環境委員会

## ①第36回

開催日：5月8日(木)10:00～

会 場：Web開催

## 【議題】

## 1. 2025年度委員会活動計画について

## ②第37回

開催日：6月6日(金)14:00～

会 場：日本鍛造協会 会議室

## 【議題】

1. 委員会社の安全活動紹介
2. イチオシ安全活動について
3. 企業訪問について
4. 安全の啓蒙活動について

## ■市場調査委員会

開催日：5月13日(火)14:30～

会 場：安保ホール

## 【議題】

## 1. 各社よりの状況報告

## ■総合企画委員会

開催日：5月20日(火)10:30～

会 場：Web開催

## 【議題】

1. R7年度常設委員会計画報告
2. 情報交換

## ●行政より

「令和7年6月1日に改正労働安全衛生規則が施行されます」

**職場における熱中症対策の強化について**

厚生労働省

## 熱中症による死亡災害の多発を踏まえた対策の強化について

**職場における熱中症による死亡災害の傾向**

- ・死亡災害が2年連続で30人レベル。
- ・熱中症は死亡災害に至る割合が、他の災害の約5～6倍。
- ・死亡者の約7割は屋外作業であるため、気候変動の影響により更なる増加の懸念。

ほとんどが「初期症状の放置・対応の遅れ」

**早急に求められる対策**

「職場における熱中症予防基本対策要綱」や「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン実施要綱」で実施を求めている事項、現場で効果を上げている対策を参考に、以下の【体制整備】、「手順作成」、「関係者への通知」が事業者により求められる。

現場において**死亡に至らせない（重篤化させない）ための適切な対策の実施が必要。**

基本的な考え方



## 現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の【体制整備】、「手順作成」、「関係者への通知」が事業者により求められる。

**1 「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知。**

※報告を受けるだけでなく、職場送迎やバディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や放方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めましょう。

**2 熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ的確な判断が可能となるよう、**

- ① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
- ② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順（フロー図①②を参考例として）の作成及び関係作業員への周知

対象となるのは

「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業

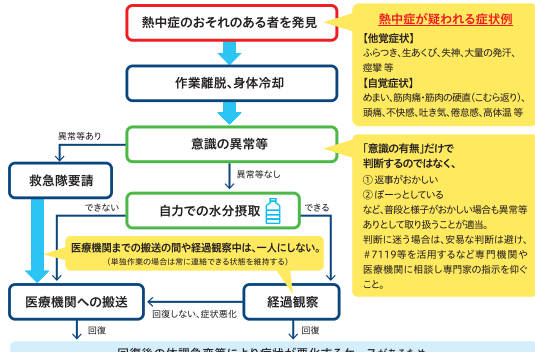
※作業強度や暑さの状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応を推奨する。  
※なお、同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講ずることとする。

## 職場における熱中症対策の強化について

厚生労働省

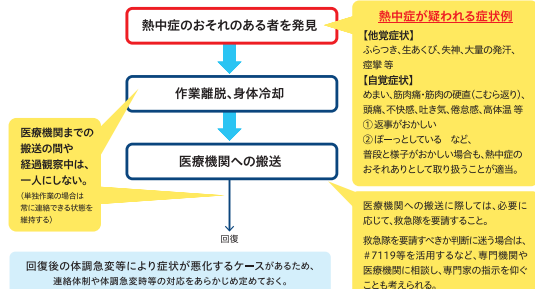
## 熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ①

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



## 熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ②

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



## JFAニュース暑中・年賀名刺広告募集

掲載号 暑中広告 令和7年7月号  
年賀広告 令和8年1月号

原 稿 縦書き（タテ64mm×ヨコ26mm）

締 切 令和7年7月3日(木)

掲載料 10,120円（税抜き 9,200円）  
[暑中・年賀併せて]